

## 村上春樹を英語で読む (9)

### —— アメリカ版とイギリス版の文体比較 (4) ——

塩 濱 久 雄

キーワード：村上春樹、翻訳

#### 0. はじめに

筆者は塩濱 (2001)、(2002)、(2003) において村上春樹の作品の英訳のアメリカ版とイギリス版の文体の違いについて調査した。本稿はその続編であり、『海辺のカフカ』を対象とする。

以前の論考においても述べたことであるが、村上作品の英訳者は全員アメリカ人である。しかし、イギリス版においてはその訳文に手が加えられている。アメリカ英語とイギリス英語の違いとして代表的な、elevator (米語) → lift (英語) などが変化していることから、イギリスの読者に向けての書き換えと考えられる。今までの論考で、筆者は、イギリス版の編集者は原文 (日本語) を参照していないと考えていたが、今回の『海辺のカフカ』の場合、アメリカ版では金額がドルになっているのが、イギリス版では金額が円になっていたり、各論(I)の最後の参考例に見えるように、原文を参照していると考えられる部分も見える。しかし、全体的には原訳者の訳を踏襲している。

筆者は以前、「日本語語法メモ」(1999) と題し、英文和訳の日本語に生じる不自然さを指摘した。その観点からすると、和文英訳の英語も原文の日本語に影響されて、不自然な点が生じるはずである。例えば、下の(I)の「マフラー」の例などはそのひとつではないかと考えている。原文の「マフラー」を、アメリカ版はそのままとなる英語の muffler としている。しかし、『ジーニアス英和大辞典』によると、muffler は「やや古」と用法指示があり、scarf が代替りの語として挙げられている。すると、イギリス版が scarf にしたのは、英米差ではなくより普通の表現に訂正したと考えられる。このようなものも含めて、イギリス版は、アメリカ版をより自然な普通の英語にしたという側面もあるのではないと思われる。もちろん、筆者は英語のネイティブスピーカーではないので、以下の違いのうち、どれが和文英訳による不自然さ (それがあるとして) なのかは、つまびらかにしないが、そうではないかと考えられるものを(I)に例示した。

筆者は文学研究者ではないので、文体上の差異が引き起こす文学的側面に関する判断は専門の研究者に委ねるが、本稿ではアメリカ版とイギリス版の違いを明示することにより、英語表現の多様性を示すことも目的とする。引用文のページ数は、原文は新潮社版ハードカバー、英文は上段のアメリカ版は Knopf、イギリス版は Harvill のハードカバーのものである。該当部分をイタリックに

するため、原文のイタリックはノーマルに戻す。また、文を途中で切った場合もある。会話文の一部を抜きだした場合でも、直前、直後に引用符をつける。

なお、『海辺のカフカ』はイギリス版が2005年1月6日に、アメリカ版が2005年1月18日に Philip Gabriel 訳で刊行された。

## 1. 各 論

### (I) アメリカ版の訂正としてのイギリス版

#### (i) muffler & scarf

上の「はじめに」でも書いたように、次例の muffler は、現代英語では「やや古」と判断されているので、scarf に変えられたものと考えられる。

But what about shirts and trousers? Gloves, *mufflers*, shorts, a coat? (8)

But what about shirts and trousers? Gloves, *scarves*, shorts, a coat? (6)

シャツは、ズボン、手袋は、マフラーは、ショートパンツは、コートは？ (上12)

#### (ii) far & a long way

『ランダムハウス英語辞典』には「(話) では far を疑問文・否定文で用い、肯定文では通例 a long way を用いる」という記述があるが、米版はそれに反している。英版はそれを訂正した形になっている。ただし、二例目の if 節は実質上疑問文と考えられるが、形式上は疑問文でない。そこで、a long way になったものと考えられる。

It's far south of Tokyo, separated from the mainland by water, with a warm climate. (11)

It's a *long way* south of Tokyo, separated from the mainland by water, with a warm climate. (10)

東京よりずっと南にあり、本土から海によって隔てられ、気候も温暖だ。(上18)

When I ask if it's far, he says no, about a ten-dollar ride. (68)

When I ask if it's a long way, he says no, about a ¥1000 ride. (77)

遠くですか？ いや、そんなに遠くじゃないよ。たぶん1000円もかからないよ。(上124)

#### (iii) course & 'cause

次例のアメリカ版の course は、of course (もちろん) の略と思われるが、イギリス版の 'cause であれば、「理由」である。

"Sex can be a real pain that way, *course* when you get in the mood all you can think about is what's right under your nose — that's sex, all right." (47)

"Sex can be a real pain that way, 'cause when you get in the mood all you can think about is

what's right under your nose — that's sex, all right.” (51)

性欲というのは、まったく困ったものなんだ。でもそのときには、とにかくそのことしか考えられない。あとさきのことなんてなんにも考えられないんだ。それが…性欲ってもんだ。(上84)

(iv) **everyone & the whole group**

次例の場合、文脈から考えて *everyone* より *the whole group* の方が適切と判断されたものと考えられる。

Secondly something has to trigger the reaction, something that acts simultaneously on *everyone*. (60)

Second something has to trigger the reaction, something that acts simultaneously on *the whole group*. (67)

もうひとつはトリガーです。その直接の「引き金」は集団の全員によって、ほぼ同時に体験されることでなくてはなりません。(上109)

(v) **myth & legend**

次例の場合、原文の「神話」は通例英語では *myth* になるので、問題はないと思われるが、イギリス版はこれを *legend* に書き換えている。英語の *myth* はギリシャ語から来ているので、我々にもなじみの古代ギリシャ神話 (ancient Greek Myth) に見えるように、「神々」に関する話である。日本語の「神話」も同様である。イギリス版の *legend* は通例「伝説」と訳されるが、本来「話し、読み物」のようなものを指す語である。そこで、アリストパネスの話は *legend* であると判断されたものと思われる。

“According to Aristophanes in Plato's Symposium, in the ancient world of *myth* there were three types of people,” Oshima says. (37)

“According to Aristophanes in Plato's the Banquet, in the ancient world of *legend* there were three types of people,” Oshima says. (40)

「プラトンの『饗宴』に出てくるアリストパネスの話によれば、大昔の神話世界には三種類の人間がいた」と大島さんは言う。

(vi) **love better & love more**

通例 *like* の場合は比較は *better* で表すが、*love* の場合は *more* が普通である。

They strut around and love nothing *better* than tormenting the weak. (315)

They strut around and love nothing *more* than tormenting the weak. (366)

やりくちが汚ねえし、すぐエバるし、弱いものいじめが何より好きときている。(下198)

(参考)

次の Sputnik Sweetheart からの例も同様と考えられる。Happy は通例 -er で比較級をつくる。

We would have been far *more happy* if we had. (177)

We would have been far *happier* if we had. (193)

(vii) could & was able to

通例、過去において実際にできたことは could ではなく was able to で表す、というルールがある。

“Anyhow, I’m happy I could meet you.” (425)

“Anyway, I’m happy I was able to meet you.” (493)

「でもとにかく君に会えてよかったよ、石くん」(下408)

(viii) could again feel & felt again

上例と同様であるが、この場合は could の部分は略されている。

They clung to each other and could again feel the intensity of their love. (144)

They clung to each other and felt again the intensity of their love. (169)

二人はしっかりと抱き合って、そのたびに自分たちがどれくらいお互いを必要としているかを確認しあった。(上273)

(ix) play (the) guitar

通例、play のあとに楽器名が来る場合には the がつく。

They all sit together on the grass and she plays guitar and they sing a couple of harmless songs. (390)

They all sit together on the grass and she plays *the* guitar and they sing a couple of harmless songs. (452)

そして草原に座り、ギターを弾きながら罪のない歌をいくつか歌う。(下342)

(x) nod & shake one’s head

「はい、いいえ」と yes, no が対応しない場合がある、ということは周知であるが、「うなずく、首を振る」と nod, shake one’s head も対応しない場合がある。長くなるが、該当箇所を引用する。原文 4 行目の「僕は黙ってうなずく」は silently の有無はあるが nod が用いられている。原文 12 行目の「僕は首を振る」は I shake my head となっている。また、原文 12 行目の「僕はうなずく」は I nod になっている。しかし、原文の最後の行の「僕はうなずく」はアメリカ版では I nod で、イギリス版では I shake my head となっている。

原文 9 行目の「たぶん」はその前の「たぶん君には理解できないだろうけど (Though I doubt

you can understand how that feels)」にあわせて、「たぶん（できない）」の意味で、“I guess not” になっている。すると、「あまり気分がいいとは言いかねるけれどね」に対する「僕はうなづく」は、日本語では問題ないが、対応する英語の It wasn't such a pleasant experience, though, was it? に対しては、賛意を表するのであれば I shake my head になる。

“So that's what you meant when you told me you were a special person?”

“I wasn't trying to brag or anything,” he says, “but you understand that I wasn't exaggerating, right?”

I nod silently.

Oshima smiles. “In terms of sex I'm most definitely female, though my breasts haven't developed much and I've never had a period. But I don't have a penis or testicles or facial hair. In short, I have nothing. A nice no-extra-baggage kind of feeling, if you want to put positive spin on it. Though I doubt you can understand how that feels.”

“I guess not,” I say.

“Sometimes I don't understand it myself. Like, what the heck am I, anyway? Really, what am I?”

I shake my head. “Well you don't know what I am, either.”

“A classic identity crisis.”

I nod.

“But at least you know where to begin. Unlike me.”

“I don't care what you are. Whatever you are, I like you,” I tell him. I've never said this to anybody in my whole life, and the words make me blush.

“I appreciate it,” Oshima says, and lays a gentle hand on my shoulder. “I know I'm a little different from everyone else, but I'm still a human being. That's what I'd like you to realize. I'm just a regular person, not some monster. I feel the same things everyone else does, act the same way. Sometimes, though, that small difference feels like an abyss. But I guess there's not much I can do about it.” He picks up a long, sharpened pencil from the counter and gazes at it like it's an extension of himself. “I wanted to tell you all this as soon as I could, directly, rather than have you hear it from someone else. So I guess today was a good opportunity. It wasn't such a pleasant experience, though, was it?”

*I nod. (167)*

“So that's what you meant when you told me you were a special person?”

“I wasn't trying to brag or anything,” he says, “but you understand that I wasn't exaggerating, right?”

I nod.

Oshima smiles. "In terms of sex I'm most definitely female, though my breasts haven't developed much and I've never had a period. But I don't have a penis or testicles or facial hair. In short, I have nothing. A nice no-extra-baggage kind of feeling, if you want to put positive spin on it. Though I doubt you can appreciate how that feels."

"I guess not," I say.

"Sometimes I don't understand it myself. I ask myself. I ask myself, what the hell am I, anyway? Really, what am I?"

I shake my head. "Well you don't know what I am, either."

"A classic identity crisis."

I nod.

"But at least you know where to begin. Unlike me."

"I don't care what you are. Whatever you are, I like you," I tell him. I've never said this to anybody in my whole life, and the words make me blush.

"I appreciate it," Oshima says, and lays a gentle hand on my shoulder. "I know I'm a little different from everyone else, but still I'm a human being. That's what I'd like you to realise. I'm just a normal person, not some monster. I feel the same things everyone else does, act the same way. Sometimes, though, that small difference feels like an abyss. But I guess there's not much I can do about it." He picks up a long, sharpened pencil from the counter and gazes at it as if it's an extension of himself. "I wanted to tell you all this as soon as I could, directly, rather than have you hear it from someone else. So I guess today was a good opportunity. It wasn't such a pleasant experience, though, was it?"

*I shake my head.* (195)

「この前、自分は特殊な人間だと言ったのはそういう意味だったんだね」と僕は言う。

「自慢するわけじゃないけれど、僕の表現が決して誇張じゃなかったことはわかってもらえたよね」僕は黙ってうなづく。

大島さんは笑う。「僕は性別から言えばまちがいに女だけど、乳房もほとんど大きくなならないし、生理だって一度もない。でもおちんちんもないし、睾丸もないし、髭もはえない。要するになにもないんだ。さっぱりしているといえば、とてもさっぱりしている。それがどういう感じのものか、たぶん君には理解できないだろうけど」

「たぶん」と僕は言う。

「ときどき僕自身にもなにがなんだか理解できなくなることがある。僕はいったいなんなんだろうってさ。ねえ、僕はいったいなんなんだろう？」

僕は首を振る。「ねえ大島さん、そんなことを言えば、僕にだって自分がなにかはわからないんだよ」

「アイデンティティーの古典的模索」

僕はうなづく。

「しかし君には少なくともとっかかりのようなものはある。僕にはない」

「大島さんがたとえなにであれ、僕は太島さんのことが好きだよ」と僕は言う。誰かに向かってそんなことを口にしたのは、生まれて初めてのことだ。僕の顔は赤くなる。

「ありがとう」と太島さんは言う。そして僕の肩にそっと手を置く。「たしかに僕はほかのみんなとは少し変わっている。でも基本的には同じ人間なんだ。そのことは君にわかてもらいたい。僕は化け物でもなんでもない。普通の人間だ。ほかのみんなと同じように感じ、同じように行動する。しかし、そのちょっとしたちがいが、ときには無限の深遠のように感じられることがある。それはもちろん、考えてみればしかたがないことではあるんだけどね」

彼はカウンターの上に置かれていた長い尖った鉛筆を手に取り、それを眺める。その鉛筆は彼の身体の延長線上にあるもののように見える。

「このことは君になるべく早い機会にうち明けておいたほうがいいだろうと思っていたんだ。誰かほかの人から聞かされるよりは、僕自身の口から直接伝えて起きたかった。だから今日はまあいい機会だった——ということだよ。あまり気分がいいとは言いかねるけれどね」

僕はうなづく。(上312)

#### (x1) *there & here*

次例では、*there* と *here* が入れ替わっているが、これはイギリス版の誤解ではないかと思われる。

“I’ll tell you about it later, but you’d better not hang around *there* for a while. We’re going to head off soon, so get your things together. When I get *there*, just come out to the parking lot and get right in the car without saying anything, Okay?”

“Okay,” I reply.

I go back to my room and pack up. There’s no need to rush since it only takes five minutes to get ready. I take down the laundry I had hanging in the bathroom, stuff my toilet kit, books, and diary in my backpack, then get dressed and straighten up the bed. Pull the sheets tight, plump up the pillows, straighten out the covers. Covering up all traces of what went on *here*. I sit down in the chair and think about Miss Saeki, who’d been with me until a few hours before. (305)

“I’ll tell you about it later, but you’d better not hang around *here* for a while. We’re going to head off soon, so get your things together. When I get *there*, just come out to the car park and get right in the car without saying anything, OK?”

“OK,” I reply.

I go back to my room and pack. There’s no need to rush since it only takes five minutes to get ready. I take down the laundry I had hanging in the bathroom, stuff my washbag,

books and diary in my backpack, then get dressed and straighten up the bed. Pull the sheets tight, plump up the pillows, straighten out the covers. Covering up all traces of what went on *there*. I sit down in the chair and think about Miss Saeki, who'd been with me until a few hours before. (354)

「詳しい事情はあとで話すけど、君はしばらくそこを離れたほうがいい。これからそちらに行くから、急いで荷物をまとめてくれないか。僕が着いたら、君はすぐに駐車場に出てきて、何も言わずに車に乗りこむ。わかった？」

「わかった」と僕は言う。

僕は部屋に戻って、言われたように荷物をまとめる。とくに急ぐ必要もない。5分もあればすべてはかたづいてしまう。洗面所で洗濯して乾かしておいた服をとりこみ、洗面用具と本と日誌をリュックに突っこむだけで荷造りは終わってしまう。服を着て、それから乱れたベッドをなおす。シーツのしわをのばし、枕のへこみをたたいてもとに戻し、掛け布団をきちんとかける。すべての痕跡を消してしまう。それから椅子に腰かけ、つい数時間前までそこにいたはずの佐伯さんのことを思う。(下178)

㊦ (pretty) unique

“A *pretty* unique talent, that's for sure.” (286)

“A unique talent, that's for sure.” (331)

「誰にでもできるこっちゃねえよな」(下139)

Unique は本来は「唯一の」の意味であるので、very などの強意語と共起するのは不自然とする考え方がある。実際には very unique という言い方は存在するがイギリス版はこの立場をとって同じく強意語の pretty を省いたと考えられる。

#### (参考例)

原文を見てわかるとおり、原文の「ホシノちゃん」がイギリス版では訳出されている。

“Can the stupid comments, all right? I don't have much patience with inanity. You'll drive me nuts if you keep it up.” (313)

“*Hoshino*, kill the stupid comments, all right? I don't have much patience with inanity. You'll drive me nuts if you keep that up.” (364)

「ホシノちゃん、お願いだから、そういうくだらないことを言わんでくれ。だんだん頭がおかしくなってくる。私はその手の方向性のない無意味さに弱いんだ」(下194)

### Ⅱ 時制、相

#### (1) 過去完了→過去

Genes *I'd gotten* from my father and mother - not that I *have* any recollection of what she



looked like — created this face. (10)

Genes I *inherited* from my father and mother - not that I *had* any recollection of what she looked like — created this face. (9)

そこには僕は父親と母親から——とはいえ母の顔はまったく覚えていないのだけど——遺伝として引きついだ顔がある。(上17)

## (2) 過去→現在完了

“I came this far and haven’t spent a cent of my own money.” (237)

“I’ve come this far and haven’t spent a cent of my own money.” (276)

「一銭もつかうことなくここまでまいりました」(下48)

## (3) 過去→過去完了

Raindrops beat against the glass, blurring streetlights alongside the road that stretch off into the distance at identical intervals like they *were* set down to measure the earth. (11)

Raindrops beat against the glass, blurring streetlights alongside the road that stretch off into the distance at identical intervals as if they *had been* set down to measure the earth. (10)

雨粒が音をたてて激しく窓をたたき、道路に沿ってならんだ街路灯の明かりをにじませている。街路灯は同じ間隔をたもちながら、世界につけられた目盛りのようにどこまでもつづいている。(上19)

The homeroom teacher didn’t collapse because the concentration of gas wasn’t strong enough to affect an adult. (26)

The homeroom teacher *had not collapsed* because the concentration of gas wasn’t strong enough to affect an adult. (28)

担任の先生だけが大丈夫だったのは、濃度が薄くて、大人の身体はたまたまそれに対抗できたからだというわけです。(上46)

He shakes his head. “No, I didn’t tell her anything. She doesn’t even know I have a cabin up here. It’s better to keep her in the dark, so she won’t get mixed up in all this. The less she knows, the less she needs to hide.”

I nod. That’s exactly what I *wanted* to hear. (324)

He shakes his head. “No, I didn’t tell her anything. She doesn’t even know I have a cabin up here. It’s better to keep her in the dark, so she won’t get mixed up in all this. The less she knows, the less she needs to hide.”

I nod. That’s what I *had wanted* to hear. (376)

大島さんは首を振る。「じつを言うと、彼女には今回のことはなにも話していない。彼女は僕がここに小屋を持っていることも知らないはずだ。あの人はいろんなことをできるだけ知らないほうがいいと思ったんだ。知らなければ隠す必要はないし、そのぶん面倒にも巻き込まれずにすむ」僕はうなずく。それは僕の望んでいたことでもある。(下214)

(4) 現在→過去

We have no children. (14)

We *had* no children. (14)

子どもはおりません。(上23) (未亡人の発言)

That *isn't* the only reason. (290)

That *wasn't* the only reason. (336)

もちろんそれだけじゃない。(下149)

(5) 不定詞→完了不定詞

(i) to be & to have been

“The last time he saw the cat seems to be three or four days ago.” (75)

“The last time he saw the cat seems to *have been* three or four days ago.” (85)

「最後に見かけたのが三日か四日くらい前みたいです」(上136)

(ii) might do & might have done

He never tried to use the fact that we were civilians to lord it over us or conceal anything from us, as some might do. (58)

He never tried to use the fact that we were civilians to lord it over us or conceal anything from us, as some *might have done*. (65)

外部者である私たちに対しても、偉そうなところも排斥的なところもまったくありませんでした。(上105)

(iii) gotta be & have to have been

“I don't know who gave it that name, but since it's called the entrance stone I'm guessing it's gotta be the entrance to something a long time ago, don't you think?” (282)

“I don't know who gave it that name, but since it's called the entrance stone I'm guessing *it has to have been* the entrance to something a long time ago, don't you think?” (326)

「誰がつけたかは知らないけど〈入り口の石〉という名前がついているからには、あれはきっとその昔、どっかへの入り口になっていたんじゃないかねえのかな」(下131)

#### (6) 条件文の時制

If I *wanted* to drive that way I'd have to get rid of me. (10)

If I *want* to drive that way I'd have to get rid of me. (9)

もしそれを追い払いたければ、僕自身を僕の中から追放するしかない。(上17)

If I throw it away, some other place would be better. (66)

If I have to throw it away, some other place *is* better. (74)

同じ捨てるにしても、どこか別の場所に捨てたほうがいい。(上120)

I feel like crying, but even if I do, nobody's going to come to my rescue. (66)

I feel like crying, but even if I *did*, nobody's going to come to my rescue. (66)

泣きだしたいような気持ちになる。でも泣いたところで、誰かが助けにきてくれるわけじゃない。  
(上120)

"You might get into trouble," I say. "If I *didn't lie*, you'd be in a whole lot more trouble."  
(245)

"You might get into trouble," I say. "If I *hadn't lied*, you'd be in a whole lot more trouble."  
(284)

「警察に嘘をつくともまずいことになるよ」と僕は言う。

「しかし僕が嘘をつかないと、君がもっとまずいことになる」(下62)

No one else was up washing his face at this early hour, and it was still a while before breakfast *was* ready. (280)

No one else was up washing his face at this early hour, and it was still a while before breakfast *would be* ready. (324)

そんな朝早くから顔を洗う人はほかにいなかったし、朝食の支度ができるまではまだ時間がある。  
(下128)

#### (Ⅲ) 副詞の有無

##### (i) イギリス版における強調の副詞の省略

##### (a) *completely* の省略

It was like carrying empty shells — the strength was *completely* drained from them. (16)

It was like carrying empty shells — the strength was drained from them. (16)

力がすっかり抜けてしまっていて、なんだか抜け殻を抱いているみたいでした。(上28)

Their lives were *completely* back to normal, unaffected by the incident. (29)

Their lives were back to normal, unaffected by the incident. (30)

子どもたちはいつもの日常に戻り、何の違和感もなく生活をおくっていました。(上51)

Detailed examinations revealed that several of the children had parasites, but nothing out of the ordinary. Otherwise they were *completely* asymptomatic - no headaches, nausea, pain, loss of appetite, insomnia, listlessness, diarrhea, nightmares. Nothing. (59)

Detailed examinations revealed that several of the children had parasites, but nothing out of the ordinary. Otherwise they were asymptomatic - no headaches, nausea, pain, loss of appetite, insomnia, listlessness, diarrhea, nightmares. Nothing. (66)

精密な検査の結果、数人の子どもの体内に寄生虫が発見されましたが、特筆するほどのものではありませんでした。頭痛や吐き気や痛み、食欲不振、不眠、倦怠感、悪夢、そのような症状もまったく見られませんでした。(上106)

He felt *completely* drained. (154)

He felt drained. (179)

頭の中が空っぽになってしまったような気分だった。(上289)

Suddenly, *completely* out of nowhere, I remember my father talking about how he'd once been struck by lightning. (232)

Suddenly, out of nowhere, I remember my father talking about how he'd once been struck by lightning. (270)

それからなんのきっかけもなく、とつぜん僕は思い出す。父親がいつか、自分は雷に打たれたことがあると語っていたことを。(下40)

#### (4) *totally* の省略

Naked like this in front of him, I feel *totally* defenseless and vulnerable, my pubic hair, penis, balls all exposed. (139)

Naked like this in front of him, I feel defenseless and vulnerable, my pubic hair, penis, balls, all exposed. (163)

大島さんの前で裸で横になっていると、息が詰まりそうになった。僕の陰毛とペニスと睾丸が太陽に照らされている。それはとても無防備で、傷つきやすそうに見える。(上263)

It's *totally* dark. (259)

It's dark. (300)

あたりは暗い。(下88)

(c) all の省略

I get the library *all* ready to open *up* before Oshima arrives. (290)

I get the library ready to open before Oshima arrives. (336)

大島さんが来る前に、図書館を開ける準備を済ませておく。(下148)

No need to get *all* jumpy. (292)

No need to get jumpy. (338)

「びくびくすることはない」(下151)

“As I mentioned before, I think this was *all* predestined,” Oshima says. (431)

“As I mentioned before, I think this was predestined,” Oshima says. (500)

「以前も言ったように、それはたぶん前もってきまっていたことだ」(下419)

(d) 類例

“You can *just* leave the futon like it is,” he said. (303)

“You can leave the futon like it is,” he said. (351)

「布団は上げなくていいからね」と彼は言った。(下173)

“I know *exactly* what’s best for him.” (303)

“I know what’s best for him.” (351)

「俺っちはあの人のことには詳しいんだ」(下173)

But now I’m here, deep in the forest, heading *even* deeper. (357)

But now I’m here, deep in the forest, heading deeper. (414)

でも僕は今こうして深い森の中にいる。そしてもっと深いところに向けて歩きつづけている。  
(下277)

That’s *exactly* what I wanted to hear. (324)

That’s what I had wanted to hear. (376)

それは僕の望んでいたことでもある。(下214)

“Though when it *actually* happens, of course, it’s pretty hard to take.” (431)

“Though when it happens, of course, it’s pretty hard to take.” (501)

「じっさいに起こってみると、とても重いことだ」(下419)

“Yeah, but is it okay to take it so far *away*?” (266)

“Yeah, but is it okay to take it so far?” (308)

「でもいいのかなあ、勝手にそんな遠くまで持っていっちゃってさ」(下102)

(参考)

助動詞によるものであるが、イギリス版で、次例のように強調を加えている部分もある。

“I feel kind of sorry for you,” Oshima says, “but like I said, I think you two shouldn’t see each other for a while.” (324)

(ii) イギリス版における推量の副詞の省略

For all I know *maybe* she’s not so wild about her own looks, but she seems comfortable with who she is, and that’s the important thing. (19)

For all I know she’s not so wild about her look herself, but she seems comfortable with who she is, and that’s the important thing. (19)

本人も自分の容姿に完全に満足はしていないまでも、うまく馴染んでくつろいでいるように見える。それはきっと大事なことなのだろう。」(上33)

(iii) イギリス版における動詞の意味を補強する副詞の省略

次例では、この場合の *lift* が上への動きを含んでいると考え、*up* が省略。

(a) **lift (up)**

I raced over to the spot and lifted *up* the children who’d fallen to the ground. (16)

I raced over to the spot and lifted the children who’d fallen to the ground. (16)

私はあわててそこに駆け寄り、地面に倒れている子どもたちを抱き起こしました。(上27)

次例も上例と同様

(b) **rise (up)**

In her right hand she has a paper cup of hot coffee she bought from a vending machine, the steam rising *up* from it, and in her left hand she’s holding a small container with sandwiches inside – another bit of vending-machine gourmet fare, by the looks of it. (19)

In her right hand she has a paper cup of hot coffee she bought from a vending machine, the steam rising from it, and in her left hand she’s holding a small container with sandwiches inside – another bit of vending-machine gourmet fare, by the looks of it. (19)

彼女は自動販売機で買ったばかりのコーヒーの紙コップを右手に持っていて、そこから白い湯気

が立ちのぼっている。左手にはこれも販売機で買ったらしい、サンドイッチの入った小さな箱を持っている。(上33)

(c) **stand (up)**

Jonnie Walker tapped his walking stick against his boots twice, a signal for the dog to stand *up*. (118)

Jonnie Walker tapped his walking stick against his boots twice, a signal for the dog to stand. (137)

ジョニー・ウォーカーはステッキで二度長靴を叩いた。それを合図に犬が身を起こした。(上221)

次例の場合、「人なつっこく」を表す *affably* を英版が省略しているが、この意図は不明。「載った」の部分を表す *nestle* は、「巢」の *nest* に反復を表す動詞語尾 *le* がついたものである。そして、*nest* 自体は「下へ」を表す *ne* と「座る」の *st* からなる語で、*nestle* には上の *lift* や *rise* とは本来逆の意味を持つ動詞である。すると、米版では、ミミがぴょんと跳び上がって膝の上に降りたというイメージの文であるが、英版ではナカタさんの膝が下のほうにあるイメージになる。

(d) **nestle (up)**

Mimi *affably* nestled *up* into Nakata's lap. (74)

Mimi nestled into Nakata's lap. (84)

ミミはそれから人なつっこくナカタさんの膝に載った。(上135)

次例は「しまいこむ」の *store* に「安全な場所へ；もとの場所へ」の *away* を付加する米版に対して、イギリス版は省略。

(e) **store (away)**

The girl lugs her little suitcase over and sits down beside me - a nothing kind of suitcase she must've picked at some discount place - and I pick it up for her and store it *away* in the overhead rack. (22)

The girl lugs her little suitcase over and sits down next to me - a nothing kind of suitcase she must've picked at some discount place. I pick it up for her and store it in the overhead rack. (23)

彼女は小型のスーツケースを抱えて僕のとなりの席にやって来る。(上39)

(類例)

Finally I rinse out my sweaty shorts and T-shirt in the sink, wring them out, and stow them *away* in a plastic bag. (52)

Finally, I rinse out my sweaty shorts and T-shirt in the sink, wring them out, and stow them in a plastic bag. (58)

汗で湿ったジム・ショーツとTシャツを洗面台で水洗いし、よくしぼってビニールの袋に入れる。  
(上94)

Her true feelings — assuming such things exist — remain hidden *away*. (147)

Her true feelings — assuming such things exist — remain hidden. (172)

彼女の生の心情は——もしそういうものがあったとしても——いつもどこかにしまいこまれている。  
(上277)

「折りたたむ」の fold に「しっかり、きちんと、ぴったり」の意味を表す up を付加する米版に対して、英版は省略。

(f) **fold (up)**

I appreciate it, I tell her. I fold *up* the piece of paper and stick it in the pocket of my windbreaker. (31)

I appreciate it, I tell her. I fold the piece of paper and stick it in the pocket of my windcheater. (33)

ありがとう、と僕は言う。僕はその電話番号を書いた紙を折りたたんでウィンドブレーカーのポケットに入れる。(上55)

「伸ばす」の stretch に「外へ突き出て」の意味を表す out を付加する米版に対して、英版は省略。

(g) **stretch (out)**

On a stained-glass window next to the landing, a deer stretches *out* its neck to nibble at some grapes. (39)

On a stained-glass window next to the landing, a deer stretches its neck to nibble at some grapes. (43)

踊り場の正面の窓にはステンドグラスがはめこまれている。鹿が首を伸ばしてブドウを食べている図柄だ。(上70)

(類例)

I spread my hands *out* in front of me and take a good hard look at them. (52)

I spread my hands in front of me and take a good hard look at them. (59)

僕は自分の両手を広げてじっと見つめる。(上94)



(h) **sit (down)**

I sit *down* on the swivel chair and quietly rest my hands on the desk. (40)

I sit on the swivel chair and calmly lay my hands on the desk. (44)

僕は回転椅子に腰をおろしてみる。そして、机の上に静かに両手を置く。(上71)

(参考) 次例では down は省略されていない。

He put a flashlight beside them, then sat down next to the stone and began rubbing it. (420)

He laid a torch beside them, then sat down next to the stone and began rubbing it. (486)

懐中電灯も置いた。そして石の隣に腰をおろし、石を撫でた。(下397)

(i) **(back) in (to)**

原文の「戻る」をアメリカ版では文頭の back で表しているが、イギリス版では省略。

*Back* in my room I jot down what I did that day in my diary, listen to Radiohead on my Walkman, read a little, and then it's lights out at eleven. (56)

In my room I jot down in my diary what I did that day, listen to Radiohead on my Walkman, read a little, and then it's lights out at eleven. (63)

ホテルに戻ると、机に向かって日誌をつけ、ウォークマンでレイディオヘッドを聴き、本をまた少し読み、11時前に寝る。(上101)

*Back* in her hometown, she had very little to do with former friends and relatives. (147)

In her hometown, she has very little to do with former friends and relatives. (171)

故郷に戻ってきたわけだが、かつての友だちとも親戚ともほとんど交際しなかった。(上277)

(コメント)

時制が had から has へと変更になっている。

So even after settling back into her hometown, she remained a cipher. (147)

So even after settling into her home town, she remained a cipher. (172)

たとえ町に戻ってきても、彼女は人々にとって相変わらずなぞの存在でありつづけた。(上278)

(j) **follow (along)**

Without a word the soldiers start walking again, and silently I follow *along*. (387)

Without a word the soldiers start walking again, and silently I follow. (449)

兵隊たちはなにも言わずにふたたび歩き始め、僕も黙ってそのあとにしたがう。(下336)

(k) **call (out)**

"There's going to be lightning today," he called *out*. (280)

"There's going to be lightning today," he called. (324)

「今日は雷さんがきます」とナカタさんは猫に向かってそう声をかけた。(下127)

The person calls *out* my name, over and over. (305)

The person calls my name, over and over. (354)

いつまでもしつこく名前を呼びつづけている。(下177)

(参考)

次例はともに shout out。

We brought his parents there, had them *shout out* his name. (63/70)

両親を連れてきて、大きな声で名前を呼ばせました。(上114)

(l) **wander (down)**

He wandered *down* the streets, sniffing the post-rain scent in the air, dressed in his usual Dragons cap, green-tinted Ray-Bans, and aloha shirt. (299)

He wandered the streets, sniffing the post-rain scent in the air, dressed in his usual Dragons cap, green-tinted Ray-Bans, and aloha shirt. (347)

星野さんは雨上がりの匂いをかぎながらしばらくあてもなく街を歩いた。中日ドラゴンズの帽子に、レイバンのサングラス、アロハシャツといういつもの格好だ。(下166)

(m) **open (up)**

I get the library *all* ready to open *up* before Oshima arrives. (290)

I get the library ready to open before Oshima arrives. (336)

大島さんが来る前に、図書館を開ける準備を済ませておく。(下148)

We chat for a while till it's time to open *up*. (290)

We chat for a while till it's time to open. (336)

開館時間が来るまで、僕は軽い話をする。(下148)

(n) **pack (up)**

I go back to my room and pack *up*. (305)

I go back to my room and pack. (355)

僕は部屋に戻って、言われたように荷物をまとめる。(下178)

(o) **close (by)**

A loud rumble ripped through the sky, and the lightning was close *by*, by the sound of it. (286)

A loud rumble ripped through the sky, and the lightning was close, by the sound of it. (332)

激しい音が出し抜けに空気を引き裂いた。どこか近くに雷が落ちたみたいだった。(下141)

#### (Ⅳ) **barely, hardly, scarcely** について

『ジーニアス英和大辞典』によると、barely は「かろうじて**ある**」こと（肯定的）、scarcely, hardly は「十分には**ない**」こと（否定的）に焦点がある、という違いがある。しかし、以下の例に見えるように、アメリカ版からイギリス版へと書き換えが行われているところを見ると、この区別が微妙であることがわかる。

##### (i) **barely**→**hardly**

Other than the trainers at the gym and the housekeeper who comes to our house every other day – and off course, the bare minimum required to get by at school – I *barely* talk to anyone. (9)

Apart from the trainers at the gym and the housekeeper who comes to our house every other day – and off course, the bare minimum required to get by at school – I *hardly* talk to anyone. (7)

体育館の指導員とのやりとりや、一日置きにうちにかよってくるお手伝いさんとの簡単なやり取りをべつにすれば、そして学校でのどうしても必要な会話をべつにすれば、僕はほとんど誰とも口をきかなかった。(上13)

Thanks to this, I *barely* had to study outside of class, but always came to near the top on exams. (9)

Thanks to this, I *hardly* had to study outside the classroom, but always came to near the top on exams. (8)

おかげで教室の外ではほとんど勉強をしなかったにもかかわらず、試験の成績では僕はいつもクラスの上位にいた。(上15)

Like it can *barely* wait to get going, the bus starts to roll the instant we get settled. (22)

As if it can *hardly* wait to get going, the bus starts to roll the instant we get settled. (23)

バスは待ちかねたように出発する。(上39)

次例の前半の違いについては、後述。

Small waves that barely reach the shore *barely* break. (276)

Small waves that scarcely reach the shore *hardly* break. (320)

かすかに持ちあがり、かすかに碎ける小さな波だ。(下122)

次例においては、後半の *barely* には変化がない。

The young driver *barely* said a word the whole time, just drove on, listening to a late-night radio show. Occasionally he'd sing along to a song, none of which Nakata had ever heard before. He wondered if they were even in Japanese, since he could *barely* understand any of the lyrics, just the occasional word. (190)

The young driver *hardly* said a word the whole time, just drove on, listening to a late-night radio show. Occasionally he'd sing along to a song, none of which Nakata had ever heard before. He wondered if they were even in Japanese, since he could *barely* understand any of the lyrics, just the occasional word. (190)

青年はそのあいだろくに口もきかず、ラジオの深夜番組を聞きながら車を運転していた。とくどきラジオにあわせて歌を歌った。どれもナカタさんが聞いたことのない曲ばかりだった。日本語の歌なのだろうが、ナカタさんには歌詞そのものがほとんど理解できなかった。ところどころで断片的に単語が聞き取れるだけだった。(上356)

(ii) *barely*→*scarcely*

I was painfully shy, though, and could *barely* reply. (32)

I was painfully shy, though, and could *scarcely* reply. (35)

僕はひどい恥ずかしがり屋だったのでろくに返事もしなかったけれど。(上57)

Small waves that *barely* reach the shore barely break. (276)

Small waves that *scarcely* reach the shore hardly break. (320)

かすかに持ちあがり、かすかに碎ける小さな波だ。(下122)

Dark clouds capped the whole sky, and it got so dark inside they could *barely* make out each other's faces. (285)

Dark clouds capped the whole sky, and it got so dark inside they could *scarcely* make out each other's faces. (330)

暗雲が蓋のように空を覆い、部屋の中は相手の表情も見分けられないほど暗くなっていた。(下138)

(コメント)

Make outは、意味的に(i)第5例の understand と類似しているが、副詞の用法は異なる。

(iii) *barely*→*just*

By listening closely, I can *barely* catch the rumble of tires from traffic. (64)

Listening closely, I can *just* catch the rumble of tyres from traffic. (72)

耳を澄ませると、通りを行き来する自動車のタイヤの音もかすかに聞こえる。(上116)

(iv) *barely*→*barely* (変化なし)

I'd always thought of it as a secret, imaginary place, and can *barely* believe that it actually exists. (36/39)

そんな場所がほんとうにどこかに実在したなんて、まだうまく信じられないくらいだ。(上64)

Though my hair's still a bit of a mess, you can *barely* see the blood on my dungaree shirt. (68/77)

髪はまだ乱れたままだが、ダンガリーシャツの血のあとはほとんど目につかない。(上124)

With *barely* a pause Mimi dealt him another blow to the nose. (74/83)

ミミは間を置かず、手のひらでもう一度相手の鼻先をぶった。(上134)

"So what is your reaction to all this?" the woman asks, *barely* containing her irritation. (162/189)

「そのことをどうお考えになりますか？」と女性がかすかな苛立ちを抑えて言う。(上302)

(v) *hardly*→*hardly* (変化なし)

最初の三例は any, ever との共起であるが、最後の例は単独。

I've *hardly* ever been outside of Tokyo, and everything looks fresh and new. (33/35)

なにもかもが僕の目には新鮮にうつる。僕はこれまで東京以外の町の風景と言うものをほとんど見たことがなかったのだ。(上58)

*Hardly* any cars pass by. (33/35)

車もほとんどとおりにかからない。(上59)

Except for a few people he exchanged e-mails with, he *hardly* had any friends. (147/172)

電子メールの文通相手をべつにすれば、友だちもほとんどいないようだった。(上278)

Oshima carefully downshifts at each curve, the kind of practiced gear shifting you *hardly* notice. (142/166)

カーブが来ると大島さんは慎重にシフトダウンする。身体にまったくショックを感じない、洗練されたシフトダウンだ。(上268)

(V) 名詞の単複

(i) a woods & wood

We knew the place very well, but it was a *woods* after all, and if any of them got separated and lost we'd have a hard time finding them all. (16)

We knew the place very well, but it was a *wood* after all, and if any of them got separated and lost we'd have a hard time finding them all. (16)

よく知った場所とはいえやはり森の中ですし、いったん奥に迷い込んでしまうと面倒なことになります。(上27)

But it was just the ordinary smell of a *woods* in the hills. (27)

But it was just the smell of a *wood* in the hills. (28)

しかし、普通の山の中の森の空気です。(上47)

(ii) appetite & appetites

They didn't seem tired and had healthy appetites. (29)

They didn't seem tired and had a *healthy appetite*. (30)

身体の疲労感もとくにないようでした。食欲もありました。(上50)

(iii) traces & trace

No traces remained, physically or emotionally, from their strange experience. (29)

No *trace* remained, physically or emotionally, from their strange experience. (30)

山の中で2時間も意識を失ったという異様な体験をしていながら、子どもたちの精神にも身体にも痕跡ひとつ残っていません。(上51)

(iv) one & ones

There are a lot of highly toxic mushrooms around here, even ones that can be fatal. (16)

There are a lot of highly toxic mushrooms around here, even *one* that can be fatal. (16)

この土地には生死にかかわるような猛毒を持ったキノコがたくさん生えています。(上27)

(v) directions & direction

「電車を乗り換える」を英語にすると change trains と train は複数になる。『ジーニアス英和大辞典』によると、この場合単数は不可である。次例の場合「方向を変える」であるが、アメリカ版の複数がイギリス版で単数になっている。

“Sometimes fate is like a small sandstorm that keeps changing *directions*,” Crow says. (5)

“Sometimes fate is like a small sandstorm that keeps changing *direction*,” Crow says. (3)  
「ある場合には運命というのは、絶えまなく進行方向を変える局地的な砂嵐に似ている」とカラスと呼ばれる少年は僕に語りかける。(上7)

(コメント)

この直後に、同じ文が繰り返されるが、そこでも同様の変更。

(vi) colors & colour

上の(v)と同様。

We can't burrow into the ground like moles or change colors like a chameleon. (76)

We can't burrow into the ground like moles or change *colour* like a chameleon. (86)

もぐらのように土の中にももぐれませんし、カメレオンのように色を変えられるわけでもありません。(上139)

(vii) period & periods

“I don't have a *period*.” (166)

“I don't have *periods*.” (193)

生理もない。(上309)

(参考)

この例のある次のページに同様の例があるが、こちらは変更なし。上の例は単純現在時制で、この例は現在完了時制である違いによって考えられる。

“In terms of sex I'm most definitely female, though my breasts haven't developed much and I've never had a period.” (167)

「僕は性別からいえばまちがいがなく女だけど、乳房もほとんど大きくなりませんし、生理だって一度もない」(上311)

(viii) facts & fact

Unlike most Japanese, he avoids vague statements, drawing a sharp distinction between *facts* and conjecture. (57)

Unlike most Japanese, he avoids vague statements, drawing a sharp distinction between *fact* and conjecture. (64)

多くの日本人とは違って、曖昧な表現をしない。事実と仮説とを明確に峻別する。(上103)

(ix) clouds & cloud

A thin layer of clouds covers the sky, and the birds outside are quiet for a change. (269)

A thin layer of cloud covers the sky, and the birds outside are quiet for a change. (311)

空は薄い雲に覆われ、鳥の声も聞こえない。(下106)

(参考)

次例では英米とも複数。

A dull layer of clouds filled the sky. —The Windup Bird Chronicle 82

空はどんよりと曇っていた。(I-150)

(x) **photos & photo**

“They had photos of you with them. Copies of your official junior high class picture. Can’t say it looked much like you, though. You looked really mad in the photo.” (246)

“He had a photo of you with him. Copy of your official junior-high class picture. Can’t say it looked much like you, though. You looked really mad in the photo.” (285)

「彼らは複製した君の写真を持っていた。中学校の生徒名簿からコピーした写真で、あまり実物に似ているとは言えなかった。君はなんだか…すごく腹を立てているような顔をしていた」(下64)

(参考)

There is/are の構文において、主語が複数の場合は are が用いられるのが文法的であるが、there’s と縮約形の場合には、複数名詞が来ることもある。しかし、以下の例に見えるように、アメリカ版の there’re+ 複数名詞が、there’s+ 複数名詞に書き換えられている場合がある。

*There’re* lots of other sounds that take its place — the chirping of birds, the cries of all sorts of insects, the gurgle of the brook, the rustling of leaves. Rain falls, something scrambles across the cabin roof, and sometimes hear indescribable sounds I can’t explain. (138)

*There’s* lots of other sounds that take its place — the chirping of birds, the cries of all sorts of insects, the gurgle of the brook, the rustling of leaves. Rain falls, something scrambles across the cabin roof, and sometimes hear indescribable sounds I can’t explain. (161)

音楽にかわるものはいたるところにあった。鳥のさえずり、さまざまな虫の声、小川のせせらぎ、樹木の葉が風に揺れる音、なにものかが小屋の屋根を歩いている足音、雨降り、そしてときどき耳に届く、説明のつかない、言葉では表現することもできない音…。(上261)

*There’re* some beautiful things down there, some delicious things, plus some dangerous things. All things that’d totally creep you out. (320)

*There’s* some beautiful things down there, some delicious things, plus some dangerous things. Rain falls, something scrambles across the cabin roof, and sometimes hear indescribable sounds I can’t explain. (371)

きれいなものもいるし、うまそうなやつもいるし、危険なやつ、気色悪いのもけっこういる。(下207)



Ⅵ 不定詞か動名詞か

(i) to skin & for skinning

Made to skin deer, it has a five inch blade and a nice heft. (7)

Made *for skinning* deer, it has a five inch blade and a nice heft. (5)

鹿の皮を剥ぐためのもので、手のひらにのせるとずしりと重く、刃渡りは12センチある。(上10)

(ii) to get & getting

“A rest area on a highway is just a place you pass through. To get from here to there.” (22)

“A highway rest area is just a place you pass through. *Getting* from here to there.” (23)

高速道路のサービスエリアなんて、結局はただの通り過ぎる地点じゃない。(上38)

(iii) to work & working

Frankly, I didn't like *to work* under military directions. (58)

Frankly, I didn't like *working* under military directions. (65)

軍の指示のもとで仕事するのは、正直言って好むところではありません。(上104)

Ⅶ 限定詞の問題

(i) a & some

“A citizen's movement's opposed the development, there was *a* legal battle and the construction's been put on hold.” (74)

“A citizen's movement's opposed the development, there was *some* legal battle. and the construction's been put on hold.” (84)

「住民の反対運動が強くて、ややこしい訴訟なんぞもあり、なかなか工事着工ができないままになっています」(上135)

(ii) some & a

“Exactly. I'm not saying she's *some* living corpse or anything.” (148)

“Exactly. I'm not saying she's *a* living corpse or anything.” (173)

「しかしどのような意味合いにおいても、彼女は生ける屍なんかじゃない」(上280)

She sidles up beside me and looks me over carefully, like she's checking out the teeth of some dog she's about to buy. (68)

She sidles up beside me and looks me over carefully, as if she's examining the teeth of a dog she's about to buy. (77)

彼女はとなりに来て、犬の歯並びを点検するときのような目つきで僕の顔を見る。(上124)

(iii) **some & なし**

There are *some* tomatoes, a chunk of cheese, eggs, carrots, turnips even, and a large porcelain jug of milk. (389)

There are tomatoes, a lump of cheese, eggs, carrots, even turnips, and a large porcelain jug of milk. (451)

そこにはトマトとチーズのかたまりが入っている。卵もある。蕪と人参もある。大きな陶製の瓶に牛乳が入っている。(下340)

(iv) **a & the**

He keeps his eyes on the road, left hand on top of the steering wheel, and smokes *an* occasional cigarette. (429)

He keeps his eyes on the road, left hand on top of the steering wheel, and smokes *the* occasional cigarette. (498)

彼はじっと前方に目を据え、ハンドルの上に左手を置き、時々煙草を吸う。(下416)

次例の場合、前半の *an* から *the* への変更は、構文が違うので、ここでは後半の変更を扱う。

There's an old color TV in *a* heavy wooden cabinet that I'm guessing is fifteen or twenty years old. (390)

The old color TV in *the* heavy wooden cabinet that I'm guessing is 15 or 20 years old. (452)

テーブルと椅子をべつにすれば、大きな木製の枠のついた、古いかたちの三菱製のカラーテレビがこの部屋にあるただひとつの家具だ。(下341)

(v) **the & a**

Oshima twirled the pencil around in his fingers. (351)

Oshima twirled *a* pencil around in his fingers. (407)

大島さんは手の中で鉛筆をくるくるとまわした。(下265)

Ⅷ 指示語の問題

(i) **that & it**

My house back in Tokyo has one just like *that* in the garden, and ever since I was little I loved that bright little spot. (38)

My house in Tokyo has one just like *it* in the garden, and ever since I was very young I loved that bright little place. (41)

僕が住んでいた野方の家の庭にもそういう場所があり、そういう日溜まりがあった。(上67)

“I love that story. Only Kafka could have written *that*.” (54)

“I love that story. Only Kafka could have written *it*.” (60)

「僕の好きな話だ。世界にはたくさんの作家がいるけれど、カフカ以外の誰にもあんな話は書けない」(上97)

“I don’t know. I don’t decide how long I’m going to sleep and then stick to *that*.” (298)

“I don’t know. I don’t decide how long I’m going to sleep and then stick to *it*.” (345)

「申し訳ありませんが、それはナカタにはなんともわかりません。これだけ寝ようと前もって自分で決めて、予定をたてて寝ているわけではありませんので」(下164)

## (ii) *it & that*

The infinite, by definition, has no limits, and thinking about *it* gave him a mild migraine. (280)

The infinite, by definition, has no limits, and thinking about *that* gave him a mild migraine. (325)

世界には自分が知らないことがそれこそ無限にあるのだ。しかし、無限について考え出すとナカタさんの頭はかすかに痛んだ。(下128)

“Can the stupid comments, all right? I don’t have much patience with inanity. You’ll drive me nuts if you keep *it* up.” (313)

“Hoshino, kill the stupid comments, all right? I don’t have much patience with inanity. You’ll drive me nuts if you keep *that* up.” (364)

「ホシノちゃん、お願いだから、そういうくだらないことを言わんでくれ。だんだん頭がおかしくなってくる。私はその手の方向性のない無意味さに弱いんだ」(下194)

He tried the hammer next, but *it* didn’t do any good. (422)

He tried the hammer next, but *that* didn’t do any good. (489)

青年は今度は金槌を試してみた。しかし、それもほとんど効果を発揮しなかった。(下403)

## (iii) *that & your*

“You know, though, Mr. Nakata, after all *that* effort to turn *that* stone over and open the entrance, nothing out of the ordinary happened.” (297)

“Well, Mr. Nakata, after all *your* effort to turn *the* stone over and open the entrance, nothing out of the ordinary happened.” (344)

「でもさ、ナカタさん。あれだけ苦勞して重い石をひっくり返して、(入り口)を開けたってえの

に、結局のところとくべつなことは何も起こらなかったね」(下163)

In fact, *this* smoke came from the incense the priests lit as they prayed for Lady Aoi. (207)

In fact, *the* smoke came from the incense the priests lit as they prayed for Lady Aoi. (242)

それは葵上のための祈祷に使われている護摩の匂いだった。(上388)

(iv) **those & they**

*Those* are a dime a dozen. (65)

*They're* a two a penny. (73)

「そんなものはどこだって買える」(上118)

(v) **them & those**

“Gays, lesbians, straights, feminists, fascist pigs, communists, Hare Krishnas — none of them bother me.” (167)

“Gays, lesbians, straights, feminists, fascist pigs, communists, Hare Krishnas — none of *those* bother me.” (195)

「ゲイだろうが、レズビアンだろうが、ストレートだろうが、フェミニストだろうが、ファシストの豚だろうが、コミュニストだろうが、ハレ・クリシュナだろうが、そんなことはべつにどうだっていい。(上313)

(IX) **所有格**

例えば「彼は手を振った」を英語にすれば、hand には、日本語にはない his をつけて、He shook his hands となる。しかし、一例目に見えるように、「シャベルですくった」の場合、shovels にアメリカ版では their があるが、イギリス版にはない。また、二例目の場合は、arms という、身体の一部を表す語にイギリス版では his がない。また、三例目にあるように、アメリカ版の her がイギリス版では the になっている。

(i) **their & なし**

This was the kind of story TV news shows lapped up., and crews rushed to the scene. Reporters crowded around the shopping district and sent out their reports on this curious event across the nation. The reporters scooped up fish *with their shovels* to illustrate what had happened. (155)

This was the kind of story TV news programmes lapped up., and crews rushed to the scene. Journalists crowded around the shopping district and sent out their reports on this curious event across the nation. They scooped up fish *with shovels* to illustrate what had happened.

(181)

テレビの報道車も詰め掛けた。それは実にテレビ向きの事件だった。レポーターが商店街に群がり、その奇妙きわまりない事件を全国に報道した。彼らはシャベルで道に落ちている魚をすくって見せた。(上292)

(ii) **his & なし**

“Pointless thinking is worse than no thinking at all,” he concluded out loud *his arms* crossed. (318)

“Pointless thinking is worse than no thinking at all,” he concluded out loud *arms* crossed. (370)

「下手の長考、休むに似たり、か」と青年は腕組みをして言った。(下204)

(iii) **her & the**

*Her* hand is real, with real fingers touching me. (260)

*The* hand is real, with real fingers touching me. (301)

それはまちがいなく現実の手だ。現実の指だ。(下90)

(X) **but & however**

イギリス版では、文頭の *but* を避け、節間に *though* を置く傾向が見られる。

But they weren't fully conscious — sort of dizzily on all fours. (25)

They weren't fully conscious, *though* — sort of dizzily on all fours. (26)

起きあがるといっても、回復の具合はまだ十分ではなく、ふらふらと身体を起こし、四つん這いになって地面に倒れていました。(上44)

But when it came to treating the children, I was totally lost. (26)

When it came to treating the children *though*, I was totally at a loss. (28)

しかしじゃあそれに対してどのような治療を施せばいいのかというと、まったく五里霧中です。(上46)

“Yes, you are right. But to tell the truth, I don't know yet what I'm supposed to do with it.” (281)

“Yes, you are right. To tell you the truth *though*, I don't know yet what I'm supposed to do with it.” (326)

「正直に申し上げまして、ナカタにもどうしていいものかまだよくわからんのです」(下130)

But when he considered it now, the story started to take on a different undertone. (302)

When he considered it now, though the story started to take on a different undertone. (350)

しかし、今思い返すと、その話は彼の心にべつの響き方をした。(下171)

#### 引用文献

村上春樹 (2002)『海辺のカフカ (上・下)』(新潮社)

Haruki Murakami (Translated by Philip Gabriel) (2005) “Kafka On The Shore”(Alfred A.Knopf)

Haruki Murakami (Translated by Philip Gabriel) (2005) “Kafka On The Shore” (The Harvill Press)

#### 参考文献

今井清人 (編)) (2005)『村上春樹スタディーズ2000－2004』(若草書房)

小西友七・南出康世 (編) (2001)『ジーニアス英和大辞典』(大修館)

塩濱久雄 (1999) 「日本語語法メモ：英文和訳の日本語」『国文論攷』神戸山手女子短期大学国文学科

(2000) 「村上春樹を英語で読む」『国文論考21号』神戸山手女子短期大学国文学科

(2001) 「村上春樹を英語で読む (2)」『国文論考22号』神戸山手女子短期大学国文学科

(2001) 「村上春樹を英語で読む (3)」『国文論考22号』神戸山手女子短期大学国文学科

(2001) 「村上春樹を英語で読む (4)」『神戸山手女子短期大学紀要43号』

(2002) 「村上春樹を英語で読む (5)」『英米文学11号』神戸山手女子短期大学英文学科

(2002) 「村上春樹を英語で読む (6)」『神戸山手女子短期大学紀要』44号

(2003) 「村上春樹を英語で読む (7)」『英米文学12号』神戸山手女子短期大学英語文化学科

(2005) 「村上春樹を英語で読む (8)」『神戸山手女子短期大学紀要』48号